
長浜市スポーツ推進計画

すべての市民が明るく健康で過ごすために

『スポーツで いきいき長浜づくり』

長 浜 市

平成26年6月

すべての市民が明るく健康で過ごすために

『スポーツでいきいき長浜づくり』

本市では、平成20年3月に「長浜市スポーツ振興計画」を策定し、市民主役の豊かなスポーツ社会の実現をめざして、スポーツ振興施策を展開してきました。

しかし、スポーツをめぐる状況の大きな変化や、スポーツの持つ価値や社会的役割の重要性が高まるなか、平成23年8月、50年ぶりに全面改正した「スポーツ基本法」が施行されました。それを受け県では、平成25年3月に「滋賀県スポーツ推進計画」が策定されました。

本市においても、2度の合併による社会環境の変化や、法の改正による国・県の動き、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックや2024年開催の滋賀国体によるスポーツに関する関心の高まりにあわせ、新たに長浜市の実情に即したスポーツ振興を図り、長浜市のスポーツ施策の方向性を示す計画を策定する必要性が高まってきました。そこで、昨年10月に長浜市スポーツ推進計画策定会議を立ち上げ、4回の策定会議を経て、スポーツを通じてすべての人々が幸福で活力ある生活を営むことができる社会の実現を目指した「長浜市スポーツ推進計画」を策定しました。

スポーツは、人々の身体を動かすという基本的欲求にこたえるとともに、爽快感や達成感等の精神的な充足や楽しみ、喜びをもたらします。また、スポーツには、健康の保持増進や体力の向上を図るだけでなく、特に子どもたちにとっては、心身の健全な発達を促し、自己責任・克己心や社会規範、フェアプレイの精神などを身に付ける上で大きな効果があります。一方、スポーツは、可能性の追求という面をもっており、アスリートの自己を高める努力は、人々に感動と勇気をもたらし、活力ある社会の形成に寄与することとなります。さらに、身近な施設でスポーツ活動を行うことを通して、人々は互いに交流を深め合い、地域の連帯感の醸成にも資することとなります。

このように、スポーツは多様な意義をもっており、人々はスポーツを通し、地域の仲間との交流を楽しんだり、アスリートは指導者とともに仲間たちと技を極めたり、子どもたちの豊かな心と体を学校と地域で育んだりするなど、スポーツといろいろな関わりをもって活動しています。私たちは、スポーツを生活に欠かせない一つの文化として、一層浸透させていくことが必要になっています。またノーマライゼーションの浸透により、しょうがいのある方もない方も、共にスポーツに親しみながら、だれもが生きがいを持ち心豊かに生活することも大変重要です。

このようなことを踏まえ、今後本計画に基づき、行政はもとより地域や学校、企業、各種団体等、あらゆる立場の人々が一丸となって、すべての市民が明るく健康に過ごせるために「スポーツでいきいき長浜づくり」の実現を目指していききたいと思います。

最後に、この計画の作成にご尽力いただきました長浜市スポーツ推進計画策定会議委員の皆さまはじめ、市民アンケートやパブリックコメントを通じて貴重なご意見をお聞かせくださいました市民の皆様へ心から感謝申し上げます。

平成26年6月

長浜市長 藤 井 勇 治

目 次

第1章	計画策定にあたって		
第1	計画策定の背景	-----	1
第2	計画の期間		
第3	長浜市の現状	-----	2
第2章	計画の目標と方針		
第1	考え方	-----	3
第2	目指す姿	-----	4
第3	基本方針と展開方策		
第3章	長浜市スポーツ推進の具体的展開		
第1	子どものスポーツ活動の充実と生涯スポーツの推進	-----	6
1	現状と課題		
2	展開方策		
	(1) 幼児期からの楽しい運動遊びとスポーツ少年団活動等の充実		
	(2) 学校体育・運動部活動の充実と児童・生徒の体力・運動能力の向上		
	(3) 市民総スポーツの推進（実施率の向上）		
	(4) 女性、子育て期、中高年期のスポーツ活動と健康づくりの推進		
	(5) 高齢者・しょうがい者のスポーツ活動の推進		
第2	「する・みる・支える（育てる）」身近なスポーツ環境の充実	-----	10
1	現状と課題		
2	展開方策		
	(1) 総合型地域スポーツクラブ及び各スポーツ関係団体の支援・育成		
	(2) スポーツ指導者の資質向上と活動支援		
	(3) 学校体育施設の有効活用と社会体育施設の充実		
	(4) 国体を見据えた地元アスリートの育成		
	(5) スポーツ情報発信の充実		
第3	スポーツを通じた地域の活性化	-----	14
1	現状と課題		
2	展開方策		
	(1) 総合型地域スポーツクラブを中核とした地域スポーツ活動の充実		
	(2) 地域との連携・協働によるスポーツツーリズムの推進		
	(3) 自然と歴史・文化を生かした「スポーツのまち長浜」の推進		
第4	長浜市スポーツ推進「3つの重点事業 ◆「ながはま鬼ごっこプロジェクト」 ◆「スポーツプラス10運動」	プラス + 「ワン」 -----	17
	◆「ながはまスポーツ夢プロジェクト」 ◇「フェアプレイ宣言」のまち長浜		
資料			18
	・用語解説		
	・長浜市のスポーツに関する参考資料		
	・長浜市スポーツ推進計画策定会議委員名簿		

計画策定にあたって

1. 計画策定の背景

平成23年8月に施行された『スポーツ基本法^{*1}』では、前文に「スポーツは心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養^{かんよう}等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身共に健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなっている。スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性^{うた}の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画する事のできる機会が確保されなければならない。」と謳われています。また、第4条では地方公共団体の責務として、「その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」ことが明記されており、第10条では「その地方の実情に即したスポーツ推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」と記されています。国では上記の「スポーツ基本法」を受け、平成24年3月に「スポーツ基本計画^{*2}」が策定されました。また、滋賀県においても、スポーツ推進の基本的な考えや方針をまとめた「滋賀県スポーツ推進計画」が平成25年3月に策定されました。

長浜市においては、平成20年に「長浜市スポーツ振興計画」を策定し、スポーツ活動の振興を図っているところですが、平成22年の2度目の合併という社会環境の変化や、法の改正による国・県の動きにあわせ、新たに長浜市の実情に即したスポーツ推進を図るため、長浜市が目指すスポーツ施策の方向性を示す計画を策定する必要があります。

近年、自由時間の増大、少子高齢化の進展、健康意識の急激な高まりに伴い、スポーツの果たす意義・役割は、健康の維持や体力の向上だけでなく、人と人とのコミュニケーションの向上、青少年の健全育成や地域の活性化など、ますます重要になっています。また、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催や平成36年の第79回滋賀県国民体育大会開催の内々定は、子どもから大人まで、スポーツに対する大きな夢が広がり、スポーツ振興への関心や国体開催種目の招致、スポーツ環境整備などへの期待が高まってきています。

このような状況の中で、スポーツを通じて、すべての人々が幸福で活力ある生活を営むことができる社会の実現をめざした施策を計画的に進めるため、「長浜市スポーツ振興計画」に替わる、今後10年間のスポーツを通じて目指す姿や目標を明らかにした「長浜市スポーツ推進計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

2. 計画の期間

本計画は、平成26年度から概ね10年間で実現すべき基本方針・展開方策を設定しています。

なお、計画期間中であっても、情勢の変化への対応や市民ニーズを反映させた具体的な計画と

して実効性を持たせるために、中間年次（平成31年度）および必要な時は、計画の進捗について把握と点検・評価を行い、効果を検証した上で見直すこととします。

3. 長浜市の現状

（１）本市を取り巻く社会構造の変化

2度の合併による市域の拡大や、少子高齢化などの社会構造の変化により、地域スポーツのあり方や見直しが求められています。したがって、地域や年齢、性別を問わず、市民がどの程度スポーツ活動に取り組んでいるかを検証し、ライフステージに応じたスポーツ活動や、健康の保持増進に対する意識の高揚を図ることが必要です。

（２）新しい公共の視点によるスポーツ振興

これまで行政主導で取り組んできたスポーツ振興を、新しい公共^{*3}の視点で地域住民が主体となり、スポーツを通じてのコミュニティづくりや地域の活性化につなげる新しい私たちの市民のスポーツ振興が求められています。また、地域振興等に関わる様々な団体と連携・協働し、地域住民のスポーツへの参画機会の拡充に努めるとともに、スポーツを通じた青少年の健全育成や住民間の交流の促進等、地域の活性化を図る必要があります。

（３）子どもを取りまく社会のスポーツ環境の変化

幼児期から小学校低学年までの体を使った遊びや運動機会の減少が指摘される中、本市の小中学生の体力・運動能力テストの結果は、国の平均値より低い状況にあり、積極的に運動をする子としない子の運動格差や体力の低下が懸念されます。そのために、子どもの生活の場である地域におけるスポーツ活動の充実と、幼児期から子どもが自ら進んで運動や体を使った遊びに取り組む運動習慣を身につけさせる環境づくりと、子どものスポーツ（運動）活動充実のため、子どもたちを地域で支える仕組みづくりが必要です。

（４）「する・みる・支える（育てる）」スポーツ環境の整備

合併により利用可能な公共の体育施設数は増えましたが、今後より一層のスポーツ振興を図るため、市民の需要に応えられる施設の見直しが求められています。また、全国規模の大会招致やスポーツイベントの開催などスポーツツーリズム^{*4}を通じた、市民との協働による地域の活性化等もスポーツ振興に期待されているところです。そして、平成36年度滋賀国体内々定をうけ、県内各市町の国体開催種目の決定等、国体開催を視野に入れた本市のスポーツ環境整備の充実が求められています。

I. 計画の目標と方針

1. 考え方

今後10年間の長浜市のスポーツを推進するにあたり、スポーツ基本法の理念と滋賀県スポーツ推進計画の基本方針を踏まえ、本市の将来ビジョンである「協働でつくる輝きと風格のあるまち長浜」（長浜市基本構想）のもと、スポーツを通じて目指す社会のあり方を「目指す姿」とし、それを実現するためのスポーツの方向性を「基本方針」として示します。

《参考》

【スポーツ基本法の理念】

- ① 自主的・自律的なスポーツ活動
- ② 学校・スポーツ団体・家庭・地域の相互連携
- ③ 人々の交流促進・地域間の交流の基盤整備
- ④ スポーツを行う者の心身の健康の保持増進・安全の確保
- ⑤ しょうがい者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるようにするための配慮
- ⑥ 競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携・効果的な実施
- ⑦ 国際相互理解の増進・国際平和への寄与
- ⑧ スポーツに対する国民の幅広い理解・支援

【滋賀県スポーツ推進計画の基本方針】

- ① 自ら行うスポーツ活動の充実
- ② 次代を担う子どもの運動・スポーツ活動の充実
- ③ スポーツ環境の充実
- ④ スポーツを通じた連携・協働による地域の活性化
- ⑤ 滋賀の特性を生かしたスポーツの推進

【長浜市基本構想の基本目標】

- ① 住民自治を確立し、市民が活躍できるまち
- ② 豊かな人間性を育む、教育のまち
- ③ 安全で安心して暮らせるまち
- ④ 環境に配慮した自然共生のまち
- ⑤ 強固な経済基盤と豊かな地域魅力のもと、若い人たちが輝くまち

2. 目指す姿

すべての市民が明るく健康で過ごすために

『スポーツで いきいき長浜づくり』

『人づくり・健康づくり』

『環境づくり』

『まちづくり』

市民が自ら主体的に取り組む身近なスポーツ環境づくりを推進し、しょうがいのあるなし、年齢・性別などにかかわらず、すべての市民が様々なスポーツを通じて、笑顔で明るく健康な生活を送り、活気のあるまち長浜の実現を目指します。

3. 基本方針と展開方策

(1)子どものスポーツ活動の充実と生涯スポーツの推進 「人づくり・健康づくり」

①幼児期からの楽しい運動遊びとスポーツ少年団^{*5}活動等の充実

②学校体育・運動部活動の充実と児童・生徒の体力・運動能力の向上

③市民総スポーツの推進(実施率の向上)

④女性、子育て期、中高年期のスポーツ活動と健康づくりの推進

⑤高齢者・しょうがい者のスポーツ活動の推進

(2)「する・みる・支える(育てる)」身近なスポーツ環境の充実 「環境づくり」

①総合型地域スポーツクラブ^{*6}及び各スポーツ関係団体の支援・育成

②スポーツ指導者の資質向上と活動支援

③学校体育施設の有効活用と社会体育施設の充実

④国体を見据えた地元アスリートの育成

⑤スポーツ情報発信の充実

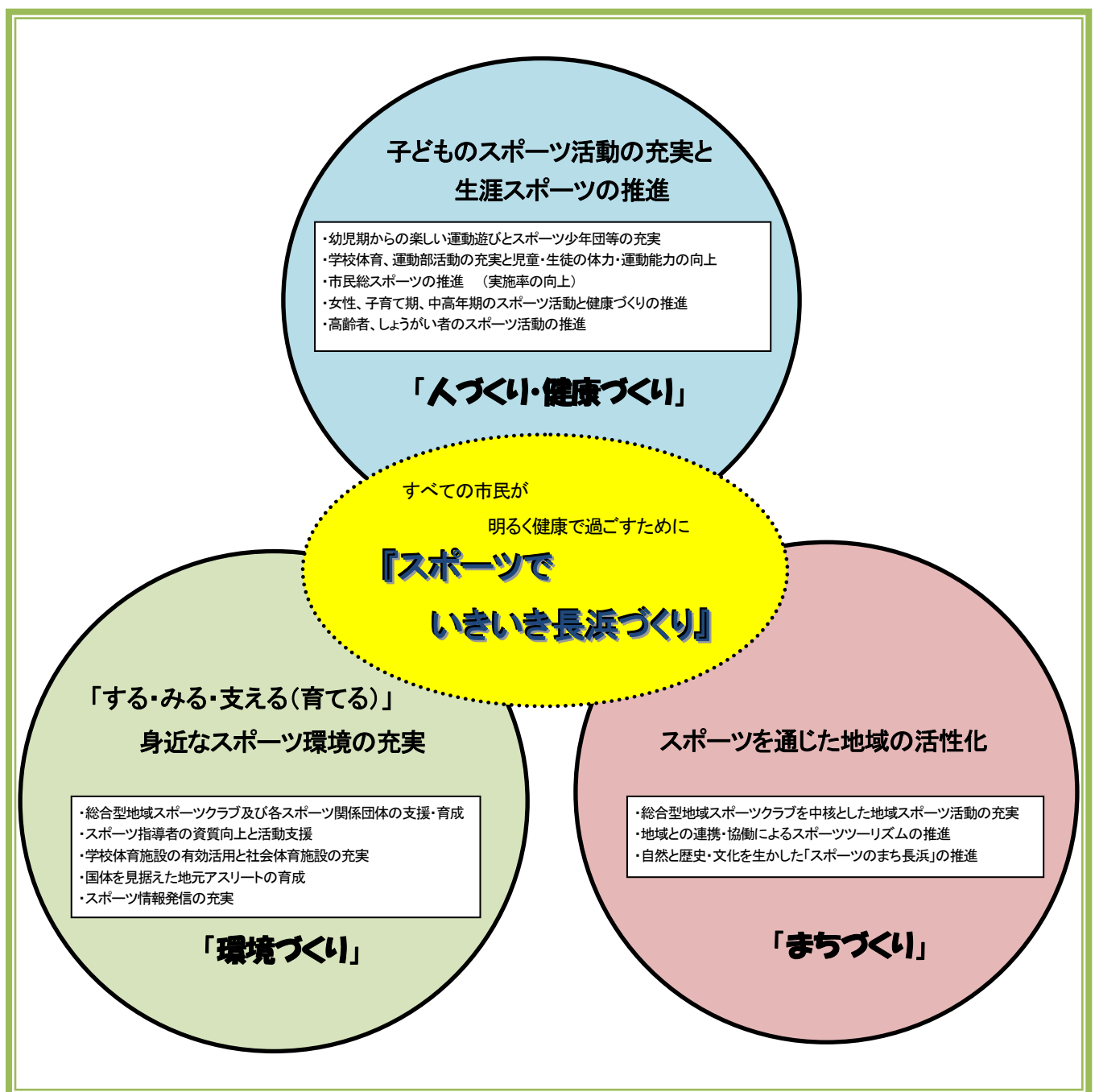
(3)スポーツを通じた地域の活性化

「まちづくり」

①総合型地域スポーツクラブを中核とした地域スポーツ活動の充実

②地域との連携・協働によるスポーツツーリズムの推進

③自然と歴史・文化を生かした「スポーツのまち長浜」の推進



II. 長浜市スポーツ推進の具体的展開

第1 子どものスポーツ活動の充実と生涯スポーツの推進

施策目標

年齢や性別、しょうがいの有無を問わず、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツに親しみ、楽しむことができるまちを目指します。そのため、幼少期から少年期にかけての家庭・学校（園）・地域における運動・スポーツ活動の充実と、ライフステージに応じた多様なスポーツ機会の拡充に取り組みます。

指 標

	H25 現状	H31 目標	H36 目標
子どもの1日の運動・スポーツの実施時間 （授業以外）が60分以上の割合 【小学校5年生】	男子 62.3% 県 68.3% 国 72.1% 女子 40.1% 県 45.3% 国 48.2%	男子70% 女子46% 以上	男子75% 女子50% 以上
成人の週1回以上のスポーツ実施率 （国の目標 週1回以上 65%）	42.0%	50%以上	65%以上

1 現状と課題

（1）子どもの体力・運動能力について

- 長浜市の子どもの体力・運動能力は、県平均を上回る学年が増えてきましたが、全国平均に比べると下回っています。種目別では、中学生の持久走の落ち込みが目立っています。
- 小学校5年生の1日の運動・スポーツ実施時間は、県・全国平均より低く、男子で13.1%、女子で25.9%の児童が30分未満です。また、月に1～3回程度でほとんど運動しない児童は、男子が8.4%、女子が20.8%です。運動実施調査の結果から、県と同じように運動をする子どもとしない子どもの二極化傾向が見られます。この傾向は、特に女子に目立っています。

（2）学校体育・運動部活動やスポーツ少年団等の状況について

- 保育園・幼稚園・認定こども園では、就学前重点教育の一つとして「運動できる体づくり・人とうまくかかわれる心づくり」を目指して、柳沢運動プログラム^{*7}を取り入れた「長浜市運動遊び事業」を展開しています。

- 小学校では、体力向上の一貫として「1日30分運動」の展開や、陸上記録会・水泳記録会・ロープジャンプ大会、全学年新体力テストの実施等の取組を行っています。
- 中学生の新体力テストの結果を見ると、ここ数年持久力の低下が目立ちます。それを受けて、各中学校では、持久力向上のために授業や部活動でランニングを積極的に取り入れる等、工夫を行っています。
- 小中学校では、体育授業の充実のために、各種の実技講習会や授業研究会を実施しています。また、健全な心身を養うために、食育や保健指導に力を入れています。
- 運動部活動やスポーツ少年団活動では、体罰根絶に向けた取組とともに、指導者の高齢化対応や指導技術の向上のために、指導者講習会等を実施しています。
- スポーツ少年団の加入率(小学4年生～6年生)は年々減少し、男子52.0%、女子30.4%です。市内中学校の運動部活動の加入率は、中学生は男子89.3%、女子は65.3%。市内高等学校では、男子71.8%、女子40.2%です。ここ数年横ばい傾向ですが、どの年代層も男子に比べて女子の加入率が低くなっています。

(3) 成人やしょうがいのある人の運動・スポーツの状況について

- 成人(20歳以上)の週1回以上のスポーツ実施率は42.0%と平成19年度より11%上昇していますが、滋賀県との比較では0.2%低く(H23年比較)、国との比較でも3.3%低く(H21年比較)なっています。
- 年代別に見ると、年齢が高くなるほど週1回以上の実施率は高く、60代以上が最も高くなっています。逆に、20～40代は30%前後と低く、特に20・30代の女性が25%前後と低くなっています。仕事や家事により時間的な余裕がないことも要因の一つと考えられます。
- 「運動やスポーツで体を動かすことが好き」な人は全体で61.3%、また「もっと運動したい・しなければ」と感じている人は全体で84.1%と非常に高く、運動・スポーツの必要性を感じている人の割合が高くなっています。
- スポーツに関する意識調査*⁸(以下「意識調査」という)からも、今後のスポーツ推進では「健康づくり」と「楽しさ」は欠かせない要件になってくると考えられます。また、「ストレスの軽減」や「体力の向上」「仲間づくり」の割合も高く、趣味と実益を併せ持ったスポーツ施策を展開していくことが大切です。
- しょうがいのある人を対象とした運動・スポーツは、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団*⁹の「スペシャルオリンピックス・スポーツプログラム」等のスポーツ教室が実施されていますが、誰もが参加でき、しょうがいのある人もない人も一緒にスポーツができるイベントや交流大会が少ない状況です。また、若年層の参加が少なく、養護学校等での部活動の促進や指導者の育成、情報提供などが必要と考えます。
- 高齢者対象の健康づくりでは、介護予防を目的とした「転倒予防教室」、メタボリックシンドロームや生活習慣病予防を目的とした「楽やせ教室」などが実施されていますが、教室終了後も運動が継続できるようなしくみが必要です。

2 展開方策

① 幼児期からの楽しい運動遊びとスポーツ少年団活動等の充実

幼年期から少年期にかけての運動・スポーツ体験は、心身の健全な発育・発達に大きく影響を与えるとともに、成人後の健康保持や豊かなスポーツライフを築く基礎となります。そこで、子ども自らがスポーツに親しむ習慣を身につけるため、スポーツ少年団等の活動や幼

少年期対象のスポーツ教室などで、「ながはま鬼ごっこプロジェクト」を取り入れ、多様な運動遊びやスポーツ体験から、遊びやスポーツの楽しさを体感できる機会の充実を図ります。

- 「ながはま鬼ごっこプロジェクト」の展開（P17 参照）
- 幼少年期対象の運動遊び、スポーツ教室の推進
- スポーツ少年団等の活動の充実

②学校体育・運動部活動の充実と児童・生徒の体力・運動能力の向上

児童生徒の体力・運動能力向上のためには、学校体育や保健体育の授業を中心に、学習を深め、楽しさや喜びを感じることができる運動やスポーツ活動を数多く体験することが大切です。また、中高の運動部活動は、生涯にわたってスポーツに親しむ資質や能力を育て、体力・運動能力の向上だけでなく、学習意欲の向上や生徒の自主性・協調性・責任感・連帯感などを育成するものであり、心身の健全な成長につながります。そこで、地域・社会体育関係団体との連携を深め、学校体育や運動部活動への支援の充実を図ります。

- 就学前教育における「長浜市運動遊び事業」の推進
- 小学校における「1 日30分運動」「フラッグフットボール」「陸上記録会」「水泳記録会」「ロープジャンプ大会」等の推進
- 中学校における「持久力を高めるための、積極的な取組」の推進
- 中学校体育連盟・高等学校体育連盟事業の推進
- 体育実技授業、運動部活動等への指導者派遣等の支援
- 小中学校での体力・運動能力等調査(新体力テスト)の実施

③市民総スポーツの推進（実施率の向上）

運動・スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で豊かな生活を実現する上で不可欠なものです。市民が生涯にわたり主体的にスポーツに取り組めるよう、またそれぞれの興味、関心や目的に応じた多様なスポーツ活動ができるように、運動・スポーツ参加の機会づくりを、各スポーツ関係団体^{*10}と協力して推進します。

- 運動・スポーツ活動の必要性の啓発や事業等の広報活動の充実
- 市民大会、エンジョイ・スポーツ大会、マラソン大会、ソーデーマーチ等の事業の充実
- スポーツ推進委員会^{*11}・総合型地域スポーツクラブ・体育振興会^{*12}・各スポーツ団体・（公財）長浜文化スポーツ振興事業団等の連携・協働の推進
- 健康増進を目的とした「ラジオ体操、健康体操」等の推進

④女性、子育て期、中高年期のスポーツ活動と健康づくりの推進

仕事や家事、育児などに追われ、運動・スポーツに親しむ機会の少ない女性や子育て期・中高年期の市民に対して、活動しやすい時間や場所を提供することで、仲間とのコミュニケーションを深め、気軽に楽しめるスポーツ活動の機会の拡充を図ることが重要です。また、庁内関係部局が横断的に各スポーツ団体と連携し、健康や生きがいづくり、健康の保持増進や病気の予防を目的とした事業を推進します。特に、今より10分多く体を動かすことを目標とした「スポーツプラス10運動」を推進していきます。

- 「スポーツプラス10運動」の展開（P17 参照）
- 親子・ファミリースポーツ教室等の拡充
- スポーツサークルやクラブ設立の支援、スポーツ教室の工夫（時間帯・場所・内容等）
- 女性の運動・スポーツ活動参加機会の拡充
- 関係機関と連携した「健康づくり教室」「生活習慣病予防教室」の推進

⑤高齢者・しょうがい者のスポーツ活動の推進

高齢者やしょうがい者が、元気で明るくいいきとした生活を送ることができるよう、各種スポーツ活動や大会を支援します。また、高齢者の高い健康意識に対応できる健康づくり事業を、関係機関や各スポーツ関係団体等と連携して推進します。また、自治会館などの身近な施設の有効活用の中で、健康づくりやふれあいを目的とした楽しい健康体操教室等の事業展開を支援していきます。しょうがい者スポーツ関係では、しょうがいの種類や程度に応じたスポーツを楽しめる機会や交流を深めることを目的とした事業を、関係機関や（公財）長浜文化スポーツ振興事業団と連携・協働で推進します。

- 高齢者スポーツ関係団体の事業支援
- 関係機関と連携を深め、健康づくりや予防教室、自主グループ活動等の推進
- しょうがい者向けスポーツ教室等の充実
- しょうがい者対象の県内外スポーツ大会参加の推進
- しょうがいのあるなしを問わず、交流を目的とした県主催の「地域でつながるスポーツの輪^{*13}」事業への積極的協力

第2 「する・みる・支える(育てる)」身近なスポーツ環境の充実

施策目標

市民の誰もが、身近な場所でいつでもスポーツに接することができ、スポーツを生活の一部として楽しむことができるまちを目指します。そのため、スポーツ組織の拡充、施設の整備と有効活用、指導者・地元アスリートの育成、情報発信に努め、「する・みる・支える(育てる)」スポーツ環境の充実に取り組みます。

指 標

	現 状	H31 目標	H36 目標
総合型地域スポーツクラブの 設立数と認知度	市内 4団体 認知度 29.6% (H25 数値)	市内9団体 認知度 45%以上	総合型地域ス ポーツクラブ認知 度 60%以上
県民総スポーツの祭典 県民体育大会における総合順位	10位(H24) 7位(H25)	5位以内	上位入賞 3位以内
社会体育施設利用者数 *学校体育施設開放事業利用者除く	587,656 名 (H25 数値)	620,000 名 以上	650,000 名 以上

1 現状と課題

(1) 総合型地域スポーツクラブ、体育協会加盟団体について

- 現在(H26.3月)市内では、4つの総合型地域スポーツクラブが設立され、2地域では設立を目指した準備委員会が活動しています。また、各総合型地域スポーツクラブの連携を深めるために「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会^{*14}」が組織され、情報交換や交流事業等が行われています。
- 総合型地域スポーツクラブの自立には、安定的な財源確保とクラブの運営を支えるクラブマネージャーやスタッフの人材確保が課題となっています。また、クラブの事業充実や新たなクラブ設立には市民の理解が大切ですが、認知度は低い結果(知らない:70.4%)となっています。今後、広報等による啓発活動や継続した事業開催を通じて、地域に根ざしたスポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブの育成が重要です。
- 長浜市体育協会^{*15}に加盟している一般の競技団体は、27団体です。協会では各種大会運営や体育功労者表彰、県体・国体選手育成・スポーツ教室等の事業を展開しています。また、県民体育大会総合順位は、合併後更に上位を目指すことが可能と考えます。今後、国体開催に向けた「する・みる・支える(育てる)」事業の推進のために、競技スポーツの指導体制の充実や組織の拡充をすすめることが必要です。

(2) スポーツ指導者について

- 総合型地域スポーツクラブの設立・運営や地域のスポーツ推進の連絡調整の中心的役割を担うスポーツ推進委員は、現在定員60名で活動しています。合併後、地域毎のスポーツ推進委員数は減少していますが、今後、自治会の体育推進員^{*16}(現

在385名)や地域づくり協議会とも連携・協働を深め、地域および市全体のスポーツ推進のコーディネーターとしての役割が期待されます。

- スポーツ少年団では、2,259名の団員数に対し490名の指導者が子ども達の指導を展開しています。スポーツ少年団本部では、指導者・保護者合同研修会や指導者協議会等を開催し指導力の向上に力をいれています。今後、国体開催に向け小中学生に対する選手強化の期待も大きくなりますが、「スポーツを通して青少年の心と体を育てる」というスポーツ少年団の目的を第一義と位置づけ、発達段階に応じたバランスのとれた指導が必要です。

(3) 学校体育施設・公共スポーツ施設について

- 社会体育施設は、屋内体育施設(15施設)と屋外体育施設(31施設)があります。また、学校体育施設開放事業では、市内40小中学校の体育館・柔剣道場・グラウンドを活用しています。意識調査結果からも、スポーツ活動をしている市民の約65%は、身近なスポーツ施設で活動しています。今後も身近なスポーツ活動の場として、スポーツ施設の有効活用と利用者の使用マナーの向上につながる運営方法等の工夫が必要です。
- 施設の課題として、建物の老朽化や耐震性不足、バリアフリー化などに伴う改修整備があり、また、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催競技種目の招致を視野に入れた、計画的な施設整備の検討が必要です。新設施設等については、国体開催だけでなく将来的に「する・みる・支える(育てる)」スポーツ推進の拠点となるような施設が望まれます。

(4) スポーツに関する情報提供について

- 意識調査結果から、スポーツの重要性として「健康のため」「体力の向上のため」の割合が高く、多くの人は「時間の余裕」「きっかけ」があれば、今以上に運動や体力づくりを始めたいと思っています。また、「興味がある事業」を望んでいる人も多くいます。しかし、きっかけづくりに大切な「ほしい情報が、必要な人に届かない。」という課題があります。
- 現在、各スポーツ団体等で広報活動を行っていますが、大会や教室、イベント情報だけでなく、施設やグループの紹介も含めた市全体のスポーツ情報ネットワークづくりなど、情報提供の工夫が求められています。

2 展開方策

①総合型地域スポーツクラブ及び各スポーツ関係団体の支援・育成

多様化・高度化する市民のスポーツ要望に応えていくためには、生涯スポーツと競技スポーツの各組織・団体が有機的に連携していくことが大切です。特に、「新しい公共」を担い、地域コミュニティ組織としての役割も期待される総合型地域スポーツクラブの育成は、身近な場所で気軽にスポーツを楽しむ機会を提供し、地域に密着したスポーツ環境づくりにつながります。今後、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団との連携を深め、総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援を積極的に進めていきます。また、各スポーツ関係団体との連携・協働の事業展開を構築し、市内全地域でバランスのとれたスポーツサービスが利用できる環境を整えます。

- 市内全域での総合型地域スポーツクラブの創設と育成支援
- 長浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の充実
- 市体育協会との連携・協働の推進
- (公財)長浜文化スポーツ振興事業団の事業充実による市内スポーツ活動の推進

②スポーツ指導者の資質向上と活動支援

本市では、スポーツ推進委員や体育協会・スポーツ少年団の種目別指導者、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ関係機関の指導者がスポーツ事業を支え、市民の健康・体力づくり、仲間づくり、青少年の健全育成に貢献しています。健康運動指導士や介護予防指導員等も高齢者の健康・体力づくりを支えています。指導者はスポーツの普及振興や競技力向上に欠くことができない存在であり、今後も、専門的能力を持つ有資格者の養成や指導技術の向上を目指した研修会等を実施します。そして、自治会選出の体育推進員の育成やスポーツ推進に大切なスポーツリーダーの人材確保にも力を入れます。また、市民のスポーツ指導者に関する要望に対応するため、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団の「スポーツリーダーバンク事業^{*17}」を有効活用し、市民の多様なニーズに応えるとともに、指導者間の連携や情報交換等を目的とした指導者のネットワーク化を進めます。

- スポーツ推進委員の研修機会の充実
- 各スポーツ関係団体の指導者研修会の充実
- 体育推進員の連携強化と育成
- 「スポーツリーダーバンク事業」の充実と有効活用

③学校体育施設の有効活用と社会体育施設の充実

スポーツを習慣化し、スポーツ推進を図るためには、気軽にスポーツを楽しむことができる場所の確保が欠かせません。そのため、既存施設の効果的・効率的な運営を促進するとともに、市民が望む身近な生活圏にある学校体育施設が有効に活用できるよう、学校体育施設開放事業^{*18}の充実を図ります。また、社会体育施設の一部には、老朽化への対応が必要な施設もあることから、施設の適正配置や効率的な管理運営等の観点による長期的な計画のもと、安心・安全で快適な施設機能の充実を進めていきます。

国体での長浜市開催種目の決定には、施設整備も重要な決定要因となります。施設については、国体開催だけでなく、国体開催後も全国規模の大会やプロ及び社会人リーグの試合等が開催(みる・支えるスポーツ)できるとともに、長浜市のスポーツ推進の拠点となるよう調査・研究を進めていきます。

- 学校体育施設開放事業の推進
- 社会体育施設における指定管理者制度の推進
- 国体開催種目を見据えた施設整備についての調査・研究

④国体を見据えた地元アスリートの育成

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」の開催や平成36年の滋賀国体開催は、次世代を担う青少年に感動と勇気を与えるだけでなく、スポーツへの関心を高め、本市のスポーツ発展にも大きく寄与するものです。この機会を生かし、スポーツの夢づくりにつながる「ながはまスポーツ夢プロジェクト」を推進します。特に、10年後の滋賀国体では、現在の小中高校生が滋賀県代表選手として活躍が期待される年代です。選手育成・強化については、県および市の各競技団体との連携・協力を深めます。また、スポーツ少年団や中学校運動部活動の指導では、「心と体を鍛える」延長線上で選手強化が進められるよう支援します。

- 「ながはまスポーツ夢プロジェクト」の展開（P17 参照）
- 市体育協会「県体・国体選手育成事業」の充実による、県民体育大会上位入賞（総合順位）
- スポーツ関係団体の連携による、地元アスリートの育成
- 市スポーツ上級大会出場激励金制度^{*19}やスポーツ功労者表彰^{*20}等の充実

⑤スポーツ情報発信の充実

「いつ、どこで、何を、どのようなメンバーで・・・。」このような情報が手に入らないため、スポーツがやりたくてもやれない市民が少なくありません。スポーツを楽しむきっかけとなる、目に見えるスポーツ関係の情報発信が重要です。そのために、市民が多様なスポーツ情報を簡単に入手できるような情報提供システムを整備していきます。また、市民の継続的なスポーツ活動への参加促進や利便性を向上させるため、利用者へのアンケートや実態調査、市民ニーズの把握につながる情報収集にも力を入れます。

- スポーツ関係団体のネットワーク化の推進と（公財）長浜文化スポーツ振興事業団ホームページの有効活用
- 市広報誌・報道機関・インターネット関連サイト・民間情報媒体等の有効活用
- スポーツカレンダー等による情報発信の充実
- 情報収集（アンケート・モニタリング等）の充実

第3 スポーツを通じた地域の活性化

施策目標

スポーツには、お互いを知り合い交流を深めるきっかけとなるだけでなく、地域の活性化やコミュニティを形成する効果があります。地域の特性を生かしたスポーツイベントの開催を通じ、地域間の交流や異世代間の交流を推進し、地域の一体感や活力を醸成するとともに、笑顔で明るく活気のあるまちづくりを目指します。

指 標

	現 状	H31 目標	H36 目標
成人の年1回以上のスポーツ事業（教室やイベント等）の参加率	36.2% (H25)	40% 以上	50% 以上
市民のスポーツイベント満足度数 （「満足している」の回答） *参加者へのアンケート	新 規	30% 以上	50% 以上

1 現状と課題

（1）市内スポーツイベントや大会について

- ウォーキング関係では、毎年多くの参加をいただいている「びわ湖長浜ツデーマーチ」、定期的に市内や近隣地域へ出かけ、テーマをもって歩く「ながはまウォークらぶ」等の事業が実施されています。ツデーマーチでは、湖北の自然や歴史を生かしたコースが設定され、例年全国からのべ4,000名前後の参加者が訪れています。
- マラソン関係では、「あざいお市マラソン」「奥びわ湖健康マラソン」「琵琶湖ジョギングコンサート」「余呉湖健康マラソン」等、どの大会も歴史があり多くのリピーターに恵まれています。今後、運営方法や内容の検討を重ね、マンネリ化の防止や「新しい公共」としての運営方法の構築に努めなければなりません。
- 南浜水泳場で開催される「オープンウォータースイムレース」、長浜ドームで開催されるアメリカンフットボールの「長浜ひょうたんボウル」、「全日本シニアレディースソフトテニス大会」、ゲートボール競技の「びわこ大会」など、県や市の各競技団体や実行委員会が運営している全国・近隣他府県規模の大会も開催されています。
- 本市のマラソン大会では、多い大会で400名近くのボランティアの方々に協力をいただいています。このようにスポーツイベントや大会運営には、ボランティア（スポーツを支える）の協力が欠かせません。今後も、貴重な感動や達成感を体得できるボランティアの輪を広め、地域に根ざしたスポーツ推進が大切です。

- 地域あげでのマラソン大会では、地元商工会や地場産業生産組合などの協力によって、飲食物やおみやげの販売等で大会が盛りあがっています。また、平成 25 年度のあざいお市マラソンでは、観光振興課と連携し、大会終了後に地元温泉施設に送迎バスを出すなどスポーツツーリズムの取組も始まりました。今後も、地元業者や関係機関、社会体育施設指定管理者等との連携を深めたスポーツイベントの開催が、地域に活力を与えていくと考えます。

(2) 地域のスポーツイベントについて

- 市では、ツデーマーチ・あざいお市マラソン・市陸上競技大会・市駅伝大会を主催事業として、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団に委託しています。
- (公財)長浜文化スポーツ振興事業団では、グラウンドゴルフ大会やフットサル大会、ウォーキング大会等を開催しています。
- 長浜市体育協会では、各競技団体が各種目のスポーツ大会を開催しています。
- 総合型地域スポーツクラブや体育振興会では、マラソン大会やユニカール大会をはじめ、ビーチボールやソフトボール、軽スポーツ等の地域密着型のスポーツイベントや大会を開催しています。
- スポーツ推進委員や体育推進員等を中心に、地域での運動会や各種スポーツ大会が開催されています。また、スポーツ少年団等でも種目別の大会や交流大会が行われています。
- スポーツイベントの課題として、参加者数の減少やスタッフの確保、組織運営の難しさなどがみられます。全市でバランスよくスポーツ振興するためには、地域で核となる組織の育成・支援が大切であると考えます。

2 展開方策

①総合型地域スポーツクラブを中核とした地域スポーツ活動の充実

全国では、生涯スポーツ振興の新たな推進システムとして総合型地域スポーツクラブの育成が展開されています。総合型地域スポーツクラブは、スポーツの推進のみならず、健康増進や豊かなコミュニティの創造に寄与する組織として期待されています。今後も地域スポーツの中核的組織として、スポーツを通じた様々な交流が促進できるよう、総合型地域スポーツクラブの全市への拡充を進めます。

また、地域スポーツ活動の充実のため、スポーツ推進委員をはじめ(公財)長浜文化スポーツ振興事業団、各スポーツ指導者の協力を得ながら、スポーツボランティアの育成と、地域の各種団体やスポーツ関係団体の連携・協働の体制づくりを推進します。

- 総合型地域スポーツクラブ間の連携・協働の推進
- 各種団体間の連携・協働による地域スポーツ活動の拡充
- スポーツボランティアの育成と協力拡充の工夫

②地域との連携・協働によるスポーツツーリズムの推進

スポーツに関連したさまざまな活動は、社会的・経済的・文化的など多方面に影響を及ぼすと言われています。近年、スポーツに参加またはスポーツを観戦することを目的にした旅行・観光が、地域の活性化につながるものとして、全国的にスポーツツーリズムの推進が注目を集めています。本市においても、市外参加者の多いスポーツイベントであるマラソン大会やウォーキング大会が、スポーツツーリズムの推進役となるよう、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団や各大会主催団体、スポーツ推進委員会や地元関係機関^{*21}と連携を深め、長浜らしい大会運営の支援を進めます。また、全国規模の大会開催や合宿誘致などの事業展開も支援します。特に、2020年東京オリンピック・パラリンピックでの参加国の事前合宿誘致は、経済効果だけでなく、青少年たちが選手との交流を通して、海外やスポーツへの関心を高める貴重な機会となるなど、スポーツを通じた地域活性化につながると考えられます。

- マラソンやウォーキング大会を活用したスポーツツーリズムの推進
- 各スポーツ関係団体等における、全国規模の大会開催や合宿等の招致の推進
- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」事前合宿誘致の検討

③自然と歴史・文化を生かした「スポーツのまち長浜」の推進

長浜市では、豊かな自然環境や美しい四季を生かした、ジョギングやサイクリング、ウィンタースポーツや水上スポーツ、釣りや登山・キャンプなど、多彩なアウトドアスポーツが楽しめます。また、歴史・文化を活用したウォーキング事業など、魅力あるスポーツ事業が展開できます。そのような長浜の良さを生かしたスポーツイベントを推進し「スポーツのまち長浜 ～好きです長浜～」を発信します。

また、市民が地域に誇りを持ち、スポーツを通して明るく健康な生活を送ることができる活気のあるまちの実現が「スポーツのまち長浜」につながると考えます。そこで、スポーツの価値や意義を広くアピールしていくため、日本体育協会で推進されている「フェアプレイ宣言」を、長浜市内各スポーツ活動場面において積極的に推進します。

- 「フェアプレイ宣言のまち長浜」の推進（P17 参照）
- 長浜のよさ「自然と歴史・文化」を生かしたスポーツ事業の推進
- スポーツによる「スポーツのまち長浜 ～好きです長浜～」の発信

第4 長浜市スポーツ推進 『3つの重点事業 ^{プラス} + ワン』

本計画の目的である「スポーツでいきいき長浜づくり」を実現するため、特に「子ども」と「健康」に焦点をあて、「3つの重点事業とフェアプレイ宣言」を積極的に展開していきます。スポーツを楽しむ子どもを地域みんなで育て、健康で元気にスポーツを楽しめるまちづくりが、「スポーツのまち長浜」につながります。

◆「ながはま鬼ごっこプロジェクト」

子ども達に運動の遊びを！

子どもの頃の運動・スポーツ体験は、心身の健全な発育・発達に大きく影響を与えるとともに、豊かな人生を形成する基礎となります。そこで、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団・スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ・市内校園(運動遊び時間、親子活動)・公民館(土曜学び座)^{*22}等と連携・協働し、子どもたちに楽しい運動遊びの機会を提供する「ながはま鬼ごっこプロジェクト」を展開していきます。また、活動のリーダーとして、地元大学の学生にも協力をいただきます。

◆「スポーツプラス10^{テン}運動」の推進

いい汗かいて、健康づくり！

高齢者をはじめ、市民全体に高まる心身の健康意識の向上に應えるため、運動の習慣化を目指した「スポーツプラス10運動」を呼びかけていきます。例えば、朝のラジオ体操の活用やテレビを見ながらのストレッチ、自宅周辺のウォーキングなど、分割やまとめ取りで「今より、1日10分多く身体を動かしましょう。」を合い言葉に、健康のため、気軽に楽しく取り組むスポーツ(運動)の輪を広げていきます。

◆「ながはまスポーツ夢プロジェクト」

子ども達にスポーツの夢を！

2020年東京オリンピック・パラリンピックや2024年滋賀国体の開催は、子ども達にスポーツへの憧れや興味を育み、感動と夢を与えてくれる大きなチャンスです。そこで、全国規模の大会や、青少年を対象としたトップアスリートによる講演や公開演技・スポーツ教室などを開催する「ながはまスポーツ夢プロジェクト」を、(公財)長浜文化スポーツ振興事業団はじめ、スポーツ関係団体や社会貢献を目指している地元企業との連携・協働を深め、事業展開していきます。

◇「フェアプレイ宣言」のまち長浜

ルールを守り、「思いやり・絆・たくましさ！」

『あ く し ゅ』 = ゲームの始まりと終わりに、対戦相手と握手をしよう。

『あ い さ つ』 = 練習仲間や町の人たちと挨拶をしよう。

『あ り が と う』 = 家族やコーチや審判、支えてくれている人みんなに感謝しよう。

長浜市では、スポーツを通じて子どもや若者を成長させ、地域に活気を与えることを目指して、日本体育協会が進めている「フェアプレイで日本を元気に！」キャンペーン運動を、市内スポーツ活動のあらゆる場面で協力・実践を積極的に呼びかけ、市内全域に推進していきます。

○宣言しよう 全力を尽くし 挑戦し楽しむことを。
○宣言しよう 仲間を信じ 思いやることを。
○宣言しよう 約束を守り 応援してくれる人への 感謝を忘れないことを。
フェアプレイの気持ちは、「スポーツの楽しさ・感動を与え、気持ちよく、夢中にさせてくれる」

資料

○用語解説

○長浜市のスポーツに関する参考資料

- ・児童・生徒の体力・運動能力の状況について
- ・子どもの運動習慣について
- ・小中高校生の運動クラブ等の加入率と新スポーツテスト結果について
- ・成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施状況（世代別）
- ・成人の運動やスポーツへの意識（世代別）
- ・成人の運動・スポーツを行った理由（世代別）
- ・成人の運動・スポーツを行わなかった理由（世代別）
- ・成人のスポーツ教室やスポーツイベントに参加したいと思う種目
- ・成人の地域のスポーツ事業、総合型地域スポーツクラブの認知度
- ・長浜市内スポーツ施設一覧
- ・長浜市内スポーツ関係団体一覧（市関係分）
- ・長浜市スポーツ関係事業一覧

○長浜市スポーツ推進計画策定会議 委員名簿

◎用語解説

用 語	※	解 説
スポーツ基本法	※1	スポーツに関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。平成23年6月24日に、平成23年法律第78号として公布。 [出典：スポーツ基本計画]
スポーツ基本計画	※2	スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国・地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための指針として位置づけられるもの。 [出典：スポーツ基本計画]
新しい公共	※3	「新しい公共」とは「官」だけではなく、市民の参加と選択のもとで、民間の団体や企業等が積極的に公共的な財・サービスの提供主体となり、身近な分野において共助の精神で行う仕組み、体制、活動など。
スポーツツーリズム	※4	スポーツを「観る」、スポーツを「する」ための旅行や、周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流や生涯スポーツの観点から、大会開催、合宿の誘致など、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」。
スポーツ少年団	※5	スポーツ少年団は、「一人でも多くの青少年にスポーツの歓びを！」「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に！」と願い、1962年に創設された。①子どもたちが、②自由時間に、③地域社会で、④幅広いスポーツ活動を、⑤グループ活動で行う集団。 [出典：日本体育協会]
総合型地域 スポーツクラブ	※6	いつでも、どこでも、だれとでも、いつまでも運動やスポーツに親しむことができる社会を実現するために、地域の住民が主体となって、自ら運営・管理する多様・多世代のスポーツクラブ。 [出典：文部科学省] 【H26年6月現在】 ・きのもとeye's（木之本地域） ・奥ひわ湖スポーツクラブ（西浅井地域） ・高月総合型スポーツクラブピース（高月地域） ・余呉はごろもクラブ（余呉地域） 設立準備委員会 ・長浜スポーツコミュニティクラブ（長浜地域） ・湖北総合型スポーツクラブ（湖北地域） [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]
柳沢運動プログラム	※7	長野県松本短期大学の柳澤秋孝先生が、幼児期の子どもたちに体を動かす事を好きになってもらいたいと、自ら考えられた体系的な運動プログラム。このプログラムの基本は、「跳ぶ・ぶら下がり・体を支える」の3つの運動。 [出典：長浜市教育委員会]
スポーツに関する 市民意識調査	※8	平成25年5月に、市内在住の16歳以上の中から2,000人を無作為に選出し、健康やスポーツについての現状、また今後のスポーツ活動に対する取組や意見を調査（回収率は38.2%）。また、市内小学校5年生全員にスポーツに関するアンケートを実施（回収率は96.4%）。 [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]
公益財団法人長浜文化 スポーツ振興事業団	※9	昭和55年、長浜市の出資により「スポーツ施設や文化施設の管理と、スポーツ・文化振興事業を実施し、地域住民の文化の向上とスポーツ振興に寄与する。」ことを目的に設立された財団法人。 [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]
各スポーツ関係団体	※10	体育協会等のスポーツに関係する組織や、各競技団体、スポーツ少年団、クラブチーム等。

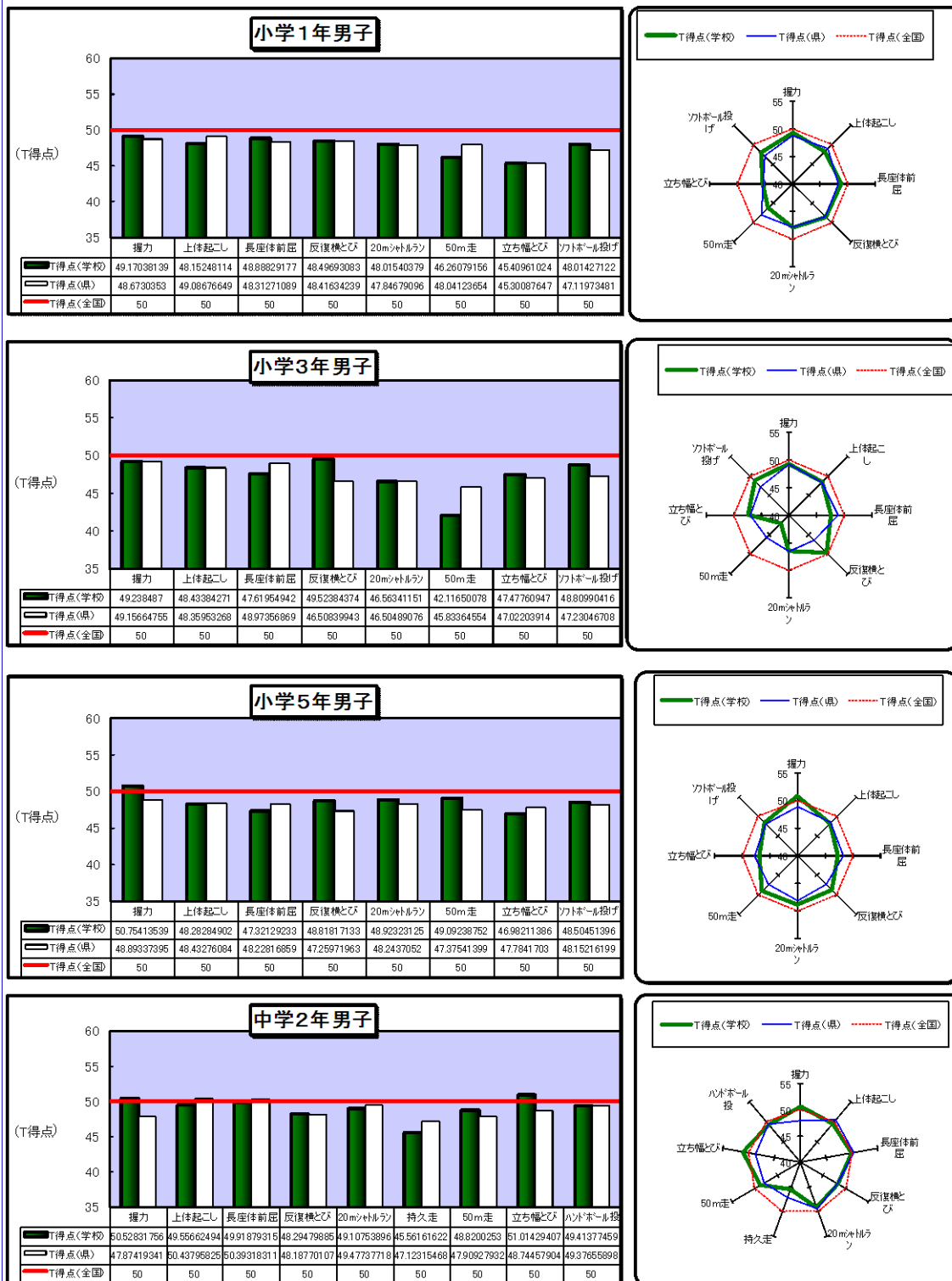
用 語	※	解 説
スポーツ推進委員会	※ 11	市町村におけるスポーツを推進するため、事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う（スポーツ基本法第 32 条第 2 項に規定）スポーツ推進委員で構成されている組織。長浜市の定員は 60 名。 [出典：スポーツ基本法]
体育振興会	※ 12	地域における生涯スポーツの振興を目的に、各事業を展開している団体。現在長浜市では、浅井地区・びわ地区・虎姫地区に組織されている。 [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]
「地域でつながる スポーツの輪」	※ 13	しょうがいの有無にかかわらずスポーツを楽しめる事業の実施を通して、しょうがい児が他のしょうがい児・者やしょうがいのない人との交流を深める契機とするとともに、多くのしょうがい者が身近な地域でスポーツに取り組める環境づくりを進め、しょうがい者スポーツの裾野を広げることを目的とした県主催の事業。平成 25 年度は、長浜市市民体育館で開催された。 [出典：県実施要項]
長浜市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	※ 14	長浜市内の総合型地域スポーツクラブの「連携および協力体制の強化、クラブカアップ、市民の体力向上および地域コミュニケーション力の強化、クラブ設立推進および啓発。」を目的とした市域の組織。 [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]
長浜市体育協会	※ 15	体育・スポーツの普及発展を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活に寄与することを目的とした組織。 [出典：長浜市体育協会規約]
体育推進員	※ 16	地域連帯感を基盤とした社会体育および生涯スポーツの振興と、市民の多様なニーズに応え明るく住みよいまちづくりに資するため、各自治会に長浜市体育推進員を設置する。 [出典：長浜市体育推進員設置要項]
長浜文化スポーツ振興事業団 スポーツリーダーバンク事業	※ 17	市民のスポーツやレクリエーション活動を応援するため、様々な分野・種目等のスポーツ指導者を登録し、要望のある市民に紹介する制度。 [出典：（公財）長浜文化スポーツ振興事業団]
学校体育施設開放事業	※ 18	スポーツ基本法第 13 条、学校教育法第 2 条第 2 項に基づき、学校の教育に支障のない限り、一定のルールの中で市内小中学校の学校体育施設を、一般のスポーツのために開放する事業。 [出典：長浜市学校体育施設利用ガイド]
市スポーツ上級大会 出場激励金制度	※ 19	本市における文化・スポーツの普及と発展を図るため、日々の活動をととして各種の大会及び個人に対し、予算の範囲内で激励金を交付する制度。 [出典：長浜市文化・スポーツ活動等上級大会出場激励金交付要綱]
長浜市体育協会 スポーツ功労者表彰	※ 20	スポーツの振興発展に寄与した者および指導者、選手、チームに対し表彰を行い、当市のスポーツ振興に資することを目的とする事業。毎年、年度末に表彰式を開催。 [出典：長浜市社会体育功労者、優秀選手・優秀チーム表彰基準]
地元関係機関	※ 21	地域づくり協議会や連合自治会、また地元観光協会や商工会等の機関。
土曜学び座	※ 22	地域全体で子どもを育てることを目的として、市内の小中学生を対象に、公民館などを会場として原則土曜日に開催されている体験教室。地域の人や大学生などがボランティアで参加し、子ども達との交流を図っている。その講座の中には、運動やスポーツに関する体験活動もある。 [出典：長浜市生涯学習・文化スポーツ課]

◎参考資料

児童・生徒の体力・運動能力の状況について

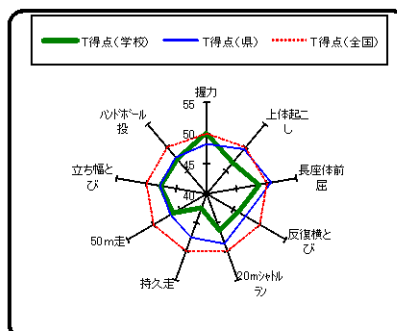
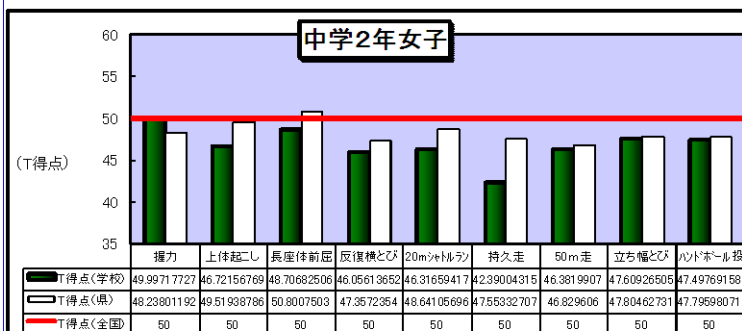
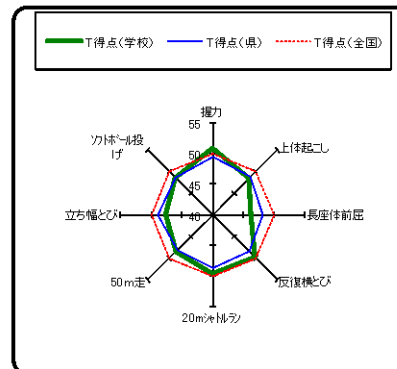
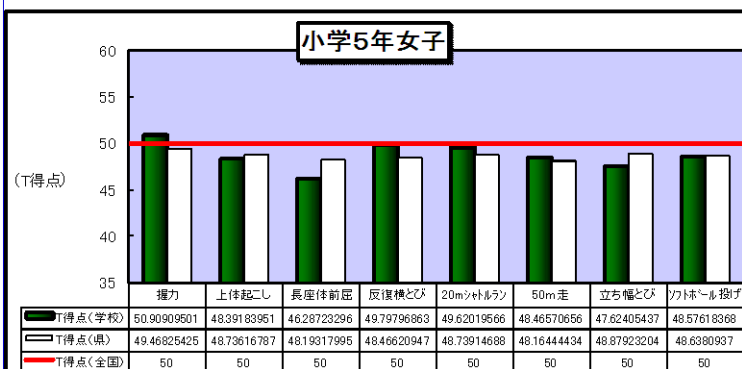
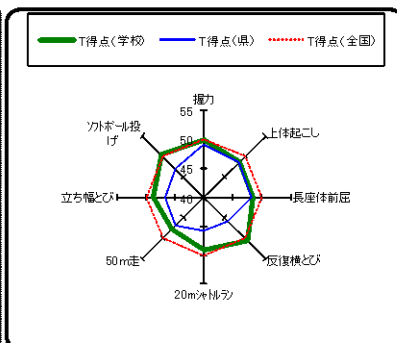
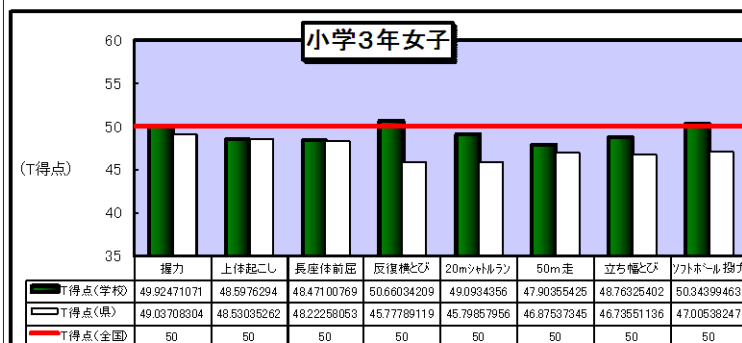
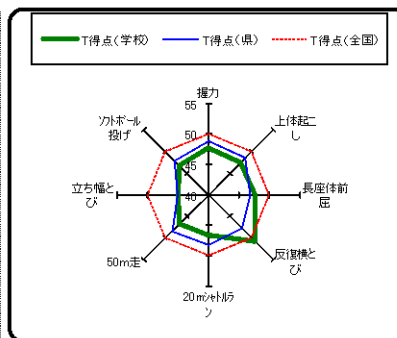
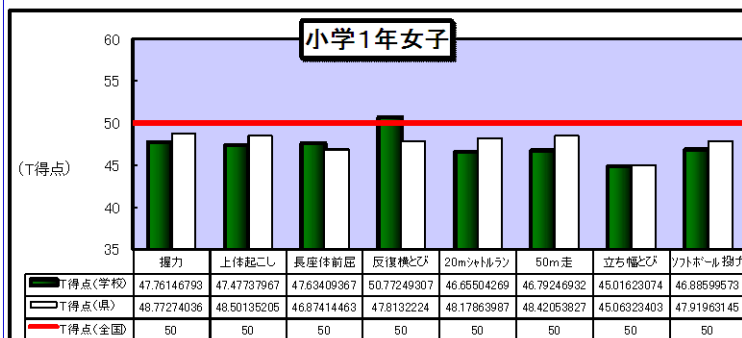
T得点による長浜市と滋賀県・全国の平均値比較【男子】

- 小・中学校ともに全国平均を大きく上回っている種目はない。
 ○小学5年生、中学2年生になると、全国平均値に近い種目や県平均を上回る種目がある。
 ○小学1・3年生では、立ち幅跳び・50m走の平均値が大きく下回っている。
 ○中学2年生では、持久走の平均値が大きく下回っている。



T得点による長浜市と滋賀県・全国の平均値比較【女子】

- 小・中学校ともに全国平均を大きく上回っている種目はない。
- 小学3・5年生は、全国平均値に近い種目や県平均を上回る種目がある。
- 中学2年生は、全体的に県・国の平均値より大きく下回っている種目が多い。



※T得点とは、全国平均を50点とした時の市・県の相対的位置を示したものの。単位の異なる記録を同一尺度を用いて標準化して比較したもの。

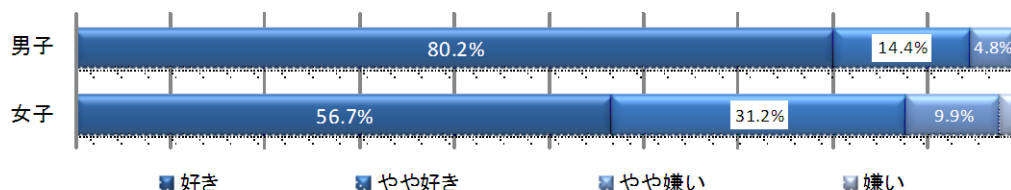
※棒グラフ(黒色=長浜市)(白色=滋賀県)。T得点(学校)=長浜市の平均値。

子どもの運動習慣について

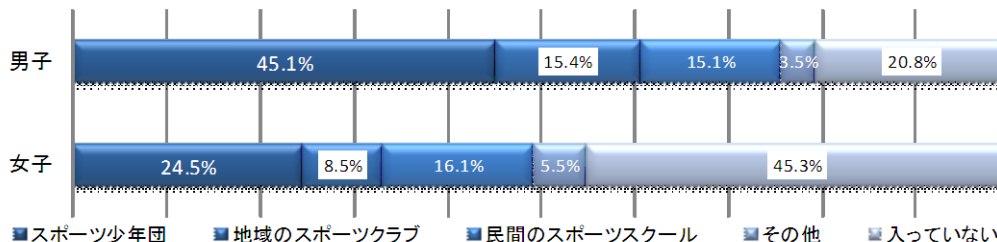
(平成25年度 市内小学校5年生 1,189名)

○男女ともに、運動やスポーツが「好き」の割合が高い。特に男子では「やや好き」を合わせると94.6%と高い。女子の「嫌い」「やや嫌い」を合わせると12.1%である。
○男子は女子に比べ「スポーツ少年団」や「スポーツクラブ」に加入している割合が高い。女子の45.3%は、どこにも入っていない。
○体育授業以外のスポーツ実施率は、男子は「ほぼ毎日」、女子は「週に1～2回」の割合が高い。週に1回以上スポーツをしている割合は、男子91.6%、女子79.3%である。
○スポーツをほとんどやっていない(男子8.4%、女子20.8%)子どもの理由は、男女ともに「スポーツが苦手な自信がない」の割合が最も高い。

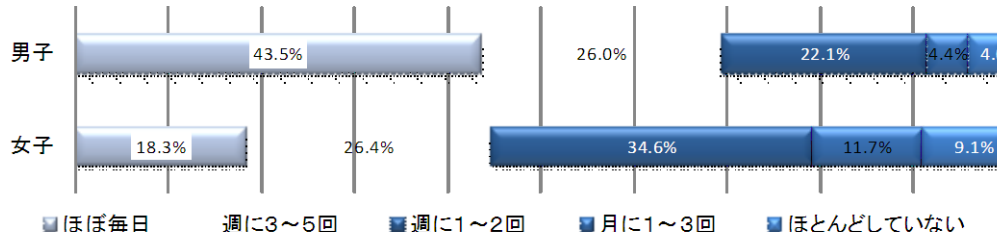
あなたは運動やスポーツが好きですか？



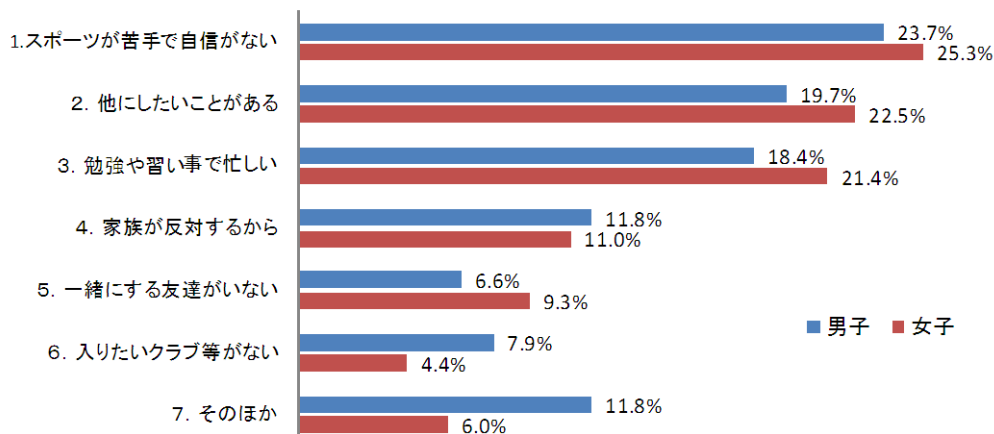
あなたは、スポーツ少年団やスポーツクラブにはいっていますか？



あなたは、スポーツ（体育の学習以外）をどのくらいしていますか？



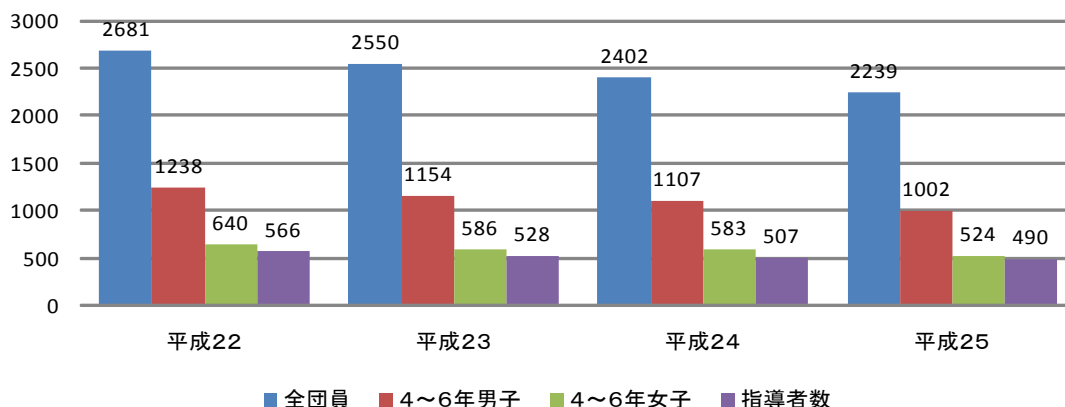
スポーツをほとんどしない理由 (男子8.4%:女子20.8% 複数回答)



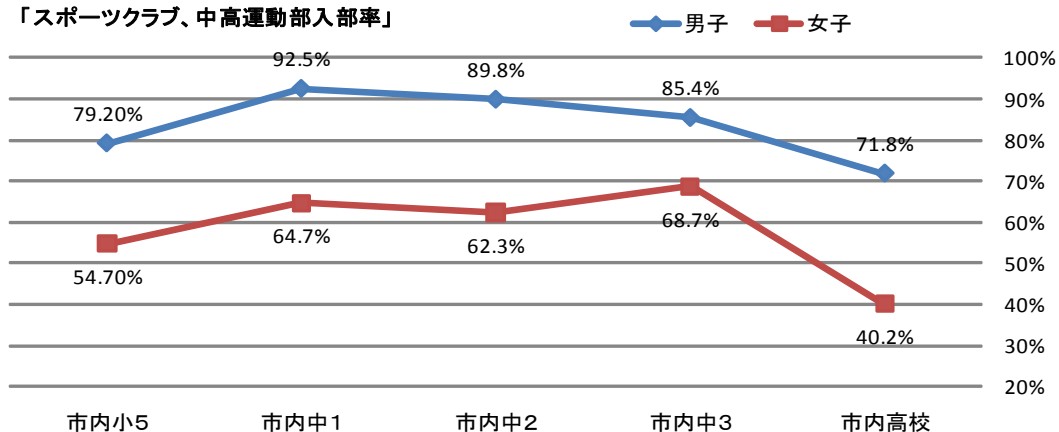
小中高校生の運動クラブ等の加入率と新スポーツテスト結果について

- 「スポーツ少年団」の団員数は年々減少傾向である。
- 小学生のスポーツクラブ、中高校生の運動部活動加入率は、男子に比べ女子は低くなっている。
- 新体カテストの結果では、学年によって極端に県平均より低い女子がみられる。

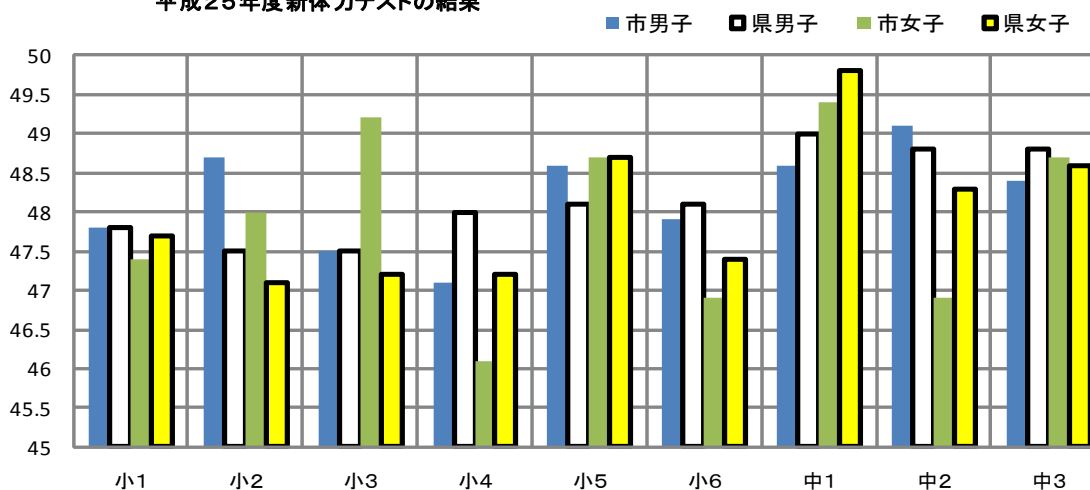
スポーツ少年団員数・指導者数の推移



「スポーツクラブ、中高運動部入部率」



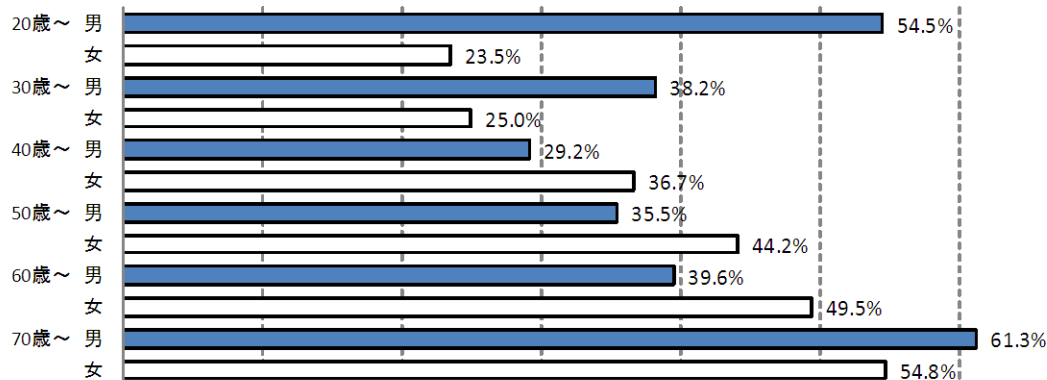
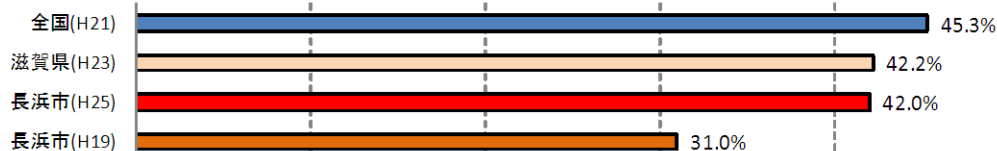
平成25年度新体カテストの結果



成人の週1回以上の運動・スポーツ実施状況（世代別）

○長浜市全体では平成19年度より11%上昇しているが、国よりは低い結果となっている。
○世代別にみると、20歳代の男性を除いて年齢が高くなるほど実施率が高くなっている。
○20歳代30歳代の女性と、40歳代の男性の実施率が他の世代に比べ低くなっている。

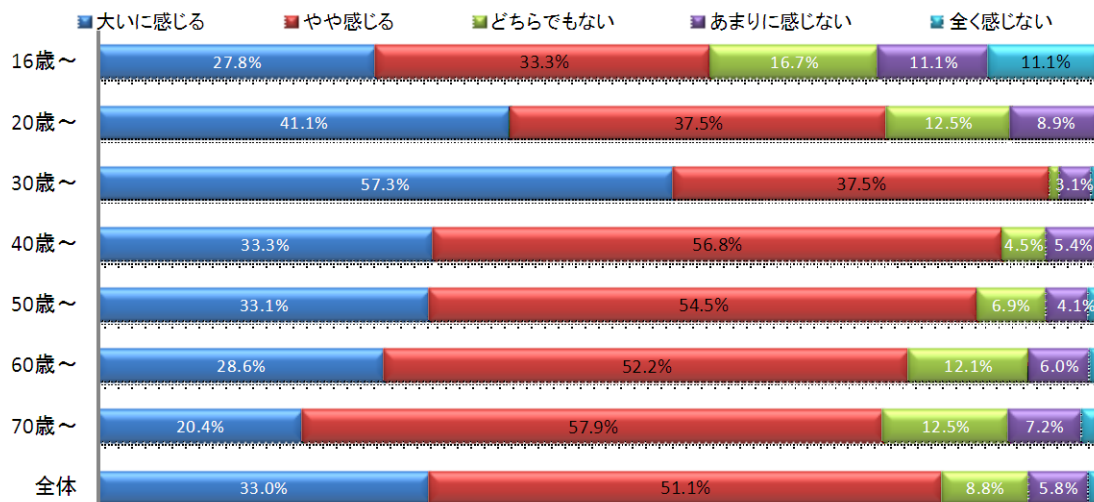
成人の週1回以上運動・スポーツ実施率(国・県との比較)



成人の運動やスポーツへの意識（世代別）

○「運動やスポーツをもっとしたい・しなければ」と感じている人は全体で84.1%と非常に高く、運動やスポーツの必要性を感じている人が多い。特に、30代の意識が高い。他の調査からも、スポーツが好きであっても、身近にスポーツに親しむことができる機会や情報がないと考えられる。

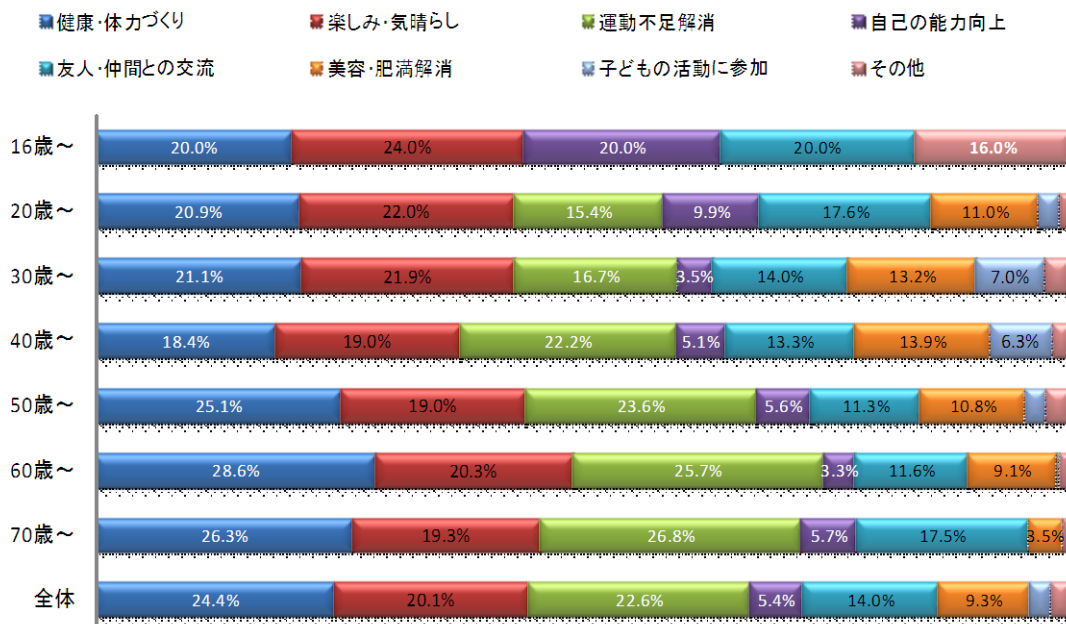
「もっと運動したい、もっと運動しなければと感じていますか？」



成人の運動・スポーツを行った理由（世代別）

○全体的に、「健康・体力づくりのため」「運動不足解消のため」「楽しみ・気晴らしのため」の順に割合が高い。10歳代で「自己の能力の向上のため」と競技志向が高い。また、30～40歳代では、「美容・肥満解消のため」や「子どもの活動に参加」の割合が他の世代より高い。

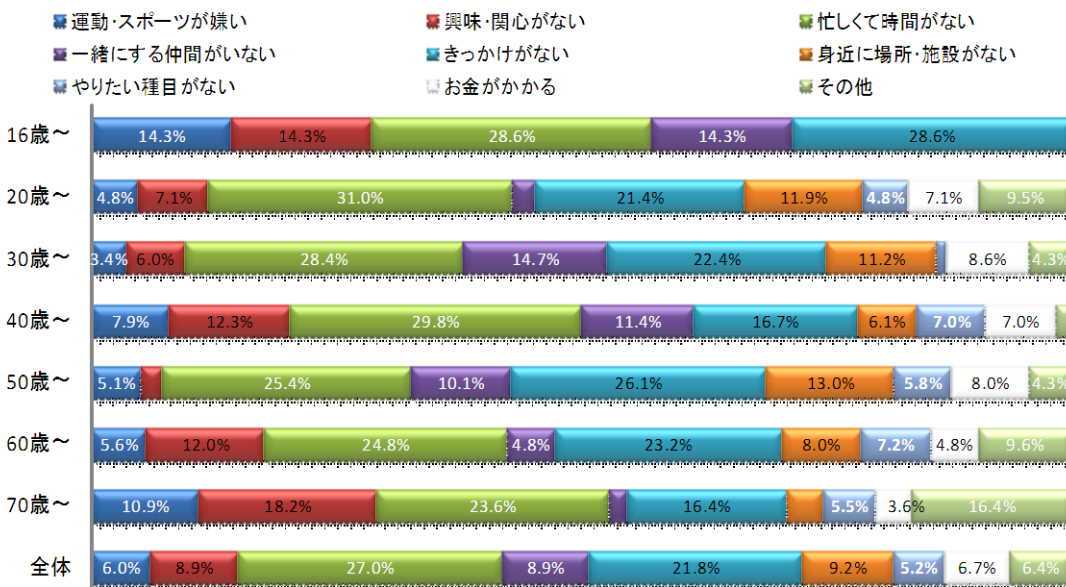
「3ヶ月に1～2回以上運動スポーツをしていると答えた人に、複数回答」



成人の運動・スポーツを行わなかった理由（世代別）

○全体的に「忙しく時間がない」（27%）の割合が高く、次いで「きっかけがない」（21.8%）である。60歳代以上では「興味・関心がない」割合が、他の年代に比べ割合が高い。

「日ごろ体をほとんど動かさないと答えた人に、複数回答」

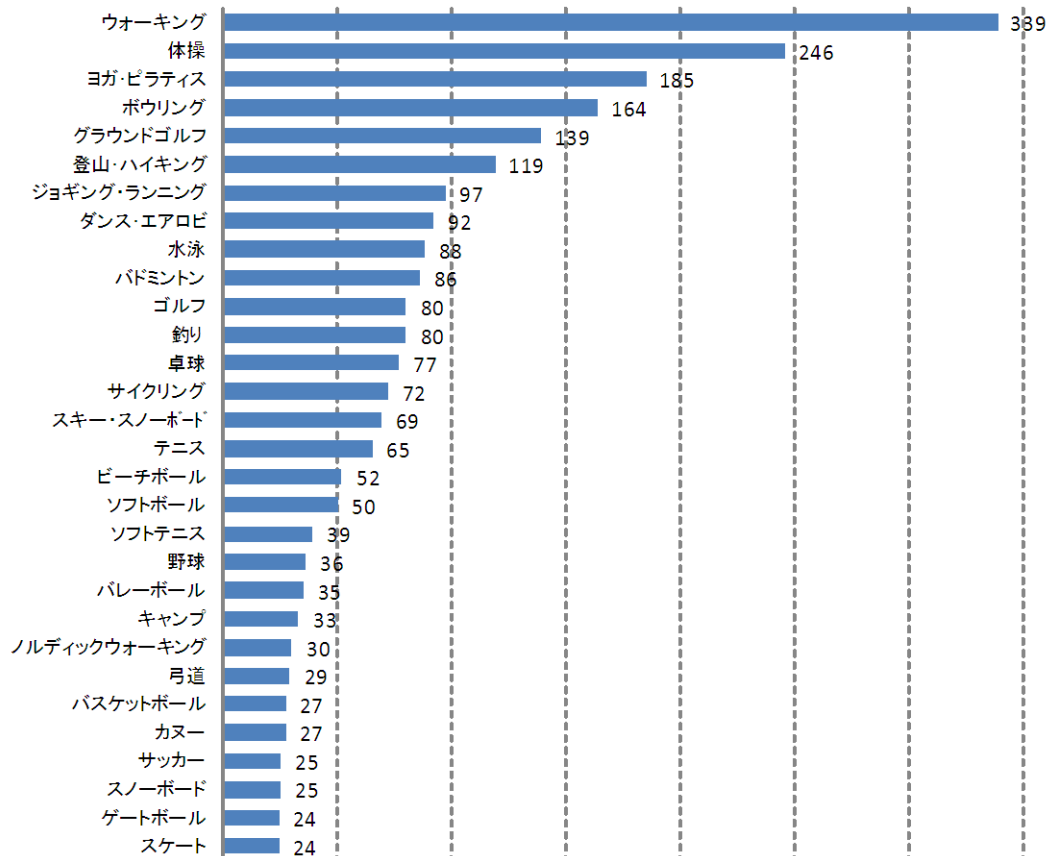


成人のスポーツ教室やスポーツイベントに参加したいと思う種目

成人のスポーツ教室やスポーツイベントに参加したいと思う種目

○全体的に手軽に健康づくりにつながる「ウォーキング」や「体操、ヨガ・ピラティス」の希望が高い。
○自然を楽しむ登山やハイキング、また「釣り」やウインタースポーツ等の野外スポーツにも関心が高い。

「教室やイベントに参加したいと思う種目は、複数回答」



成人の地域のスポーツ事業、総合型地域スポーツクラブの認知度

○文スポの事業については、半数以上の方が聞いたことがあると答えている。今後「年間1回もスポーツ事業に参加したことがない(63.8%)」方の、スポーツ体験を増やす工夫が大切です。

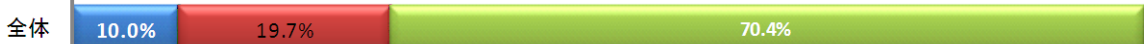
○総合型地域スポーツクラブの認知度は、男女ともに低い。今後情報発信の工夫が必要です。

長浜市文化スポーツ振興事業団が様々な教室を開催していることを知っていますか？

■知っている ■聞いたことがある ■知らない



あなたは総合型地域スポーツクラブを知っていますか？



長浜市内スポーツ施設一覧（県・民間施設含む）			
区 分	南 部（旧長浜地区）	中 部（旧東浅井地区）	北 部（旧伊香地区）
体育館	長浜市民体育館	長浜市浅井B&G海洋センター体育館	高月運動広場体育館
		浅井体育館	木之本運動広場体育館
		びわ体育館	余呉体育館
		虎姫運動広場体育館	西浅井運動広場体育館
		山本山運動広場体育館	
		湖北体育館	
屋内運動場	長浜サンドーム	スパーク浅井	余呉屋内グラウンド
	長浜ドーム屋内競技場	あじさいホール	西浅井いきいきホール
			大見いこいの広場土間式体育館
野球場	長浜球場	浅井球場	
ソフトボール場	神照運動公園ソフトボール場		
多目的競技場	神照運動公園長浜市多目的競技場	浅井ふれあいグラウンド	余呉屋外運動場照明施設 （余呉小）
	神照運動公園長浜市レクリエーション 広場	浅井屋外運動場照明施設 （上草野小）	高月運動広場運動場
	長浜屋外運動場照明施設（西中）	びわ屋外運動場照明施設 （びわ南小）	木之本運動広場運動場
	本庄山村広場	虎姫運動広場運動場	西浅井運動広場運動場
	東上坂山村広場	山本山運動広場運動場	
	長浜ドーム屋外グラウンド	高時川運動広場多目的広場	
		奥びわスポーツの森多目的グラウン ド	
テニスコート	長浜市民庭球場（12面）	浅井文化スポーツ公園（7面）	高月運動広場 （3面）
	長浜ドームテニスコート（4面）	虎姫運動広場 （3面）	西浅井運動広場 （2面）
		高時川運動広場 （3面）	ウッディパル余呉 （6面）
		奥びわスポーツの森（6面）	大見いこいの広場 （5面）
プール	神照運動公園長浜市民プール	長浜市浅井B&G海洋センタープール	木之本運動広場プール
ゲートボール場 グラウンドゴルフ場	神照運動公園ゲートボール場	高時川運動広場ゲートボール場	西浅井運動広場グラウンドゴルフ場
		草野川河川敷ゲートボール場	ウッディパル余呉グラウンドゴルフ 場
		草野川河川敷グラウンドゴルフ場	
		奥びわスポーツの森グラウンドゴル フ場	
		健康パークあざいグラウンドゴルフ 場	
その他	長浜市武徳殿	南浜水泳場	
	長浜市民弓道場	長浜市浅井B&G海洋センター艇庫	ウッディパル余呉パターゴルフ場
	長浜ヨットハーバー	ハックルベリー長浜 （室内カートの場）	余呉高原リゾートヤップスキー場
	長浜スイミングスクール	あざい365ゴルフクラブ	賤ヶ岳冒険遊び場
	長浜スプリングレーンズ		
	ながはま冒険あそび場		
	365ゴルフクラブながはま		
	ゴルフシティーナガハマ		
学校開放施設	小学校（6） 中学校（4）	小学校（11） 中学校（4）	小学校（10） 中学校（5）

長浜市内スポーツ関係団体一覧（市関係分）

区 分	団 体 名		
公益財団法人	公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団		
総合型地域 スポーツクラブ 地区体育振興会	きのもとeye's	余呉はごろもクラブ	浅井地区体育振興会
	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜スポーツコミュニティクラブ 設立準備委員会	びわ地区体育振興会
	高月総合型スポーツクラブ ピース	湖北総合型地域スポーツクラブ 設立準備委員会	虎姫地区体育振興会
長浜市体育協会	長浜市陸上競技協会	長浜山岳会	長浜市グラウンドゴルフ協会
	長浜水泳協会	長浜市ホッケー協会	長浜トライアスロン協会
	長浜市軟式野球連盟	長浜市剣道連盟	長浜市少林寺拳法協会
	長浜柔道協会	長浜市卓球協会	長浜弓道協会
	長浜バスケットボール協会	長浜サッカー協会	長浜市アメリカンフットボール協会
	長浜市バドミントン協会	長浜市ゴルフ協会	長浜市ゲートボール連盟
	長浜市ソフトボール協会	長浜市スキー協会	長浜市相撲連盟
	長浜市バレーボール協会	九徳塾長浜道場	長浜市小学校体育連盟
	長浜ソフトテニス協会	長浜市空手道連盟	長浜市中学校体育連盟
	長浜テニス協会	長浜合気道協会	長浜市高校体育連盟
	他) スポーツ少年団・ 総合型クラブ、地域体育振興会		
長浜市スポーツ 少年団 加盟団体	長浜地区スポーツ少年団	西浅井地区スポーツ少年団	浅井柔道スポーツ少年団
	長浜北地区スポーツ少年団	長浜弓道スポーツ少年団	浅井陸上クラブスポーツ少年団
	神照地区スポーツ少年団	国際真武門空手道スポーツ少年団	高月柔道スポーツ少年団
	南郷里地区スポーツ少年団	長浜柔道スポーツ少年団	高月野球スポーツ少年団
	北郷里地区スポーツ少年団	長浜市陸上スポーツ少年団	高月サッカースポーツ少年団
	長浜南地区スポーツ少年団	長浜剣道スポーツ少年団	富永少年サッカースポーツ少年団
	浅井西地区スポーツ少年団	姉水柔道スポーツ少年団	高月女子バレーボールクラブスポーツ少年団
	浅井北地区スポーツ少年団	長浜フットボールアスレチッククラブスポーツ少年団	高月少林寺拳法スポーツ少年団
	浅井南地区スポーツ少年団	長浜ジュニアバドミントンスポーツ少年団	木之本Jrバレーボールクラブスポーツ少年団
	浅井東地区スポーツ少年団	南郷里柔道スポーツ少年団	余呉マホースポーツ少年団
	びわ地区スポーツ少年団	長浜パンサーズスポーツ少年団	伊香ジュニアソフトテニスクラブスポーツ少年団
	虎姫地区スポーツ少年団	長浜誠武館柔道スポーツ少年団	伊香ベースボールクラブスポーツ少年団
	湖北地区スポーツ少年団	Nagahama・L・Aスポーツ少年団	
その他	※市内では他にも、青少年対象のスポーツクラブや一般スポーツクラブが多数活動をしています。		

市内のスポーツ・健康推進関係事業一覧（市主催、後援等関係分）				
※【市】市事業 【地】支所・自治会関係 【総】総合型クラブ 【文】文スポ 【団】各スポーツ関係団体 【推】スポーツ推進委員会				
区 分	イベント・大会・教室名等（平成25年度関係）			
イベント関係 ウォーキング・マラソン関係	市	びわ湖長浜ツデーマーチ	市	あざいお市マラソン
	市	長浜市陸上競技大会	市	スポーツイベント ビューティーボディレッスン
	地	余呉湖健康マラソン	地	琵琶湖ジョギングコンサート
	地	虎姫ナイトウォーク	地	虎姫軽登山&ハイキング
	文	バス&ウォーク 「伊賀上野城」ウォーク	総	長浜まち走ラン
	総	乗鞍岳トレッキングツアー	総	三世代交流新川マラソン大会
	団	長浜市スポーツ少年団交流大会	団	長浜ひょうたんボウル
	団	天女の羽衣伝説 ウルトラマラソン大会	団	よさこい春まつり 「賤岳春乱舞」
各種 スポーツ大会	団	長浜市柔道大会	団	滋賀県小学生柔道大会
	団	湖北少年柔道大会	団	長浜市民剣道大会
	団	陸上競技交流大会	団	長浜市民水泳大会
	団	バドミントン大会	団	春季・秋季 長浜市バドミントン大会
	団	春季・秋季長浜市民卓球大会 （中学の部）	団	春季・秋季長浜市民卓球大会 （一般・高校の部）
	団	ソフトボール交流大会	総	奥スポエンジョイ ソフトボール大会
	総	長浜ソフトボール大会	総	神照ソフトボール大会
	団	びわこ少年野球大会	団	吉田杯争奪少年野球大会
	団	市長旗争奪少年野球大会	団	長浜ジュニアソフトテニス大会
	団	バスケットボール市民大会 （高校・一般の部）	団	お市カップ ミニバスケットボール大会
	団	長浜カップ 中学生バスケットボール大会	団	エンジョイテニスダブルス大会
	団	サルビアカップ 小学生バレーボール大会	総	六荘地区民バレーボール大会
	団	びわ少年サッカー大会	団	高月少年サッカー大会
	団	湖北キッカーズ杯少年サッカー 大会（4・5・6年の部）	団	長浜市長杯少年サッカー大会
	団	南郷里招待サッカー大会	文	B&G財団会長杯フットサル大会
	団	小谷城顕彰親善杯 ゲートボール大会	団	雨森芳洲顕彰ゲートボール大会
	団	長浜市九支部親善 ゲートボール大会	団	浅井長政旗ゲートボール大会
	団	竹生島奉賛会 ゲートボール大会	団	湖北地区ゲートボール大会
	文	事業団理事長杯 長浜グラウンドゴルフ大会	文	B&Gグラウンドゴルフ大会
	団	たかつき・たかつき グラウンドゴルフ大会	団	湖北町GGA グラウンドゴルフ大会
	総	神照グラウンドゴルフ大会	総	南郷里ビーチボール大会
	総	西黒田・神田 ビーチボール親睦大会	総	北郷里ビーチボール大会
	団	湖北ビーチボール親善大会	総	余呉ビーチボール大会
	総	高月ビーチボール大会	総	ふれあいスポーツ大会 &おくスポ交流会
	総	きのもとユニカール フレンドリーカップ	総	高月ユニカール大会
			総	バタンク交流大会
	市	長浜市駅伝競走大会	市	長浜市駅伝競走大会
	総	奥びわ湖健康マラソン	総	奥びわ湖健康マラソン
	地	雨森鯉のぼりマラソン	地	雨森鯉のぼりマラソン
	文	ながはまウォークらぶ	文	ながはまウォークらぶ
	総	木之本ナイトウォーキング	総	木之本ナイトウォーキング
	総	湖北ノルディックウォーク	総	湖北ノルディックウォーク
	団	琵琶湖オープンウォータースイムレース	団	琵琶湖オープンウォータースイムレース
	団	長浜あざいあっぱれ祭り	団	長浜あざいあっぱれ祭り

市内のスポーツ・健康推進関係事業一覧 （市主催、後援等関係分）

※【市】市事業 【地】支所・自治会関係 【総】総合型クラブ 【文】文スポ 【団】各スポーツ関係団体 【推】スポーツ推進委員会

区 分	イベント・大会・教室名等 （平成25年度関係）			
スポーツ教室・講習会関係	市	キッズ器械体操塾	市	B&Gベーシックトレーニング講座
	市	ジュニア器械体操塾①②	市	B&Gかけっこ教室
	文	フィットネスフラダンス教室	文	初心者バドミントン教室
	文	各種エアロビクス教室(2)	文	初心者ソフトテニス教室
	文	ピラティス教室	文	ナイター硬式テニス教室(2)
	文	各種ヨガ教室(5)	文	ジュニアゴルフスクール
	文	おやこDEあそびクス教室	文	カヌー体験教室(2)
	文	生活習慣病予防ヘルスアップ教室	文	初心者ゴルフ教室
	文	スペシャルオリンピックススポーツプログラム	文	ウキウキ水中健康教室
	文	トレーニング講習会	文	B&Gビギナー水泳教室
	文	In body 測定会	文	B&Gびんきち水泳教室
	文	長浜市民スポーツフェスティバル	文	幼児フロアリズム教室
	文	こどもかけっこ塾①②	地	ゴルフスクール(虎)
	文	子ども基礎運動走投跳塾①②	地	ピラティス教室(虎)
	文	おやこ教室スポーツ塾①②	地	ちびっこ運動教室(虎)
	文	子どもグラウンドゴルフ体験教室	地	虎姫スキー&スノーボードスクール
	文	子ども水泳教室①②	地	遊友スポーツクラブ(び)
	文	初心者卓球教室	団	子ども水泳教室
			団	長浜市陸上スポーツ教室

市内公民館他の主なスポーツ・健康関係事業

※土曜＝土曜学び座(小学生対象講座)

長浜公民館	土曜（フラッグフットボール）			
神照公民館	親善ビーチボール大会	連合運動会	親子軽スポーツ教室	土曜（グラウンドゴルフ）
南郷里公民館	親善ビーチボール大会	親善ソフトボール大会	親善グラウンドゴルフ大会	土曜（軽スポーツ）
北郷里公民館	地区民グラウンドゴルフ大会		土曜（ニュースポーツ）	
西黒田公民館	三世代グラウンドゴルフ大会	ソフトバレーボール大会	海の日イベント(ニュースポーツ)	ソフトボール大会
	金太郎相撲大会	金太郎運動会	のろし駅伝	
神田公民館	三世代グラウンドゴルフ大会&草スキー	町民グラウンドゴルフ大会	町民運動会	親善ボウリング大会
六荘公民館	地区民バレーボール大会		地区民運動会	
下草野公民館	土曜（フットサル、ニュースポーツ）		キッズダンス教室	
七尾公民館	親子ドッジボール大会		区民グラウンドゴルフ大会	
田根公民館	西池カヌー教室			
びわ公民館	きらめきスクール（健康づくり）		土曜（軽スポーツ）	
虎姫公民館	土曜（スポーツ体験）			
湖北公民館	健康ヨガ教室	ピラティス教室	子どもリズム体操教室	キッズダンス教室
	親子リフレッシュ教室		ダンスwithベビー教室	
木之本公民館	自主活動セミナー（健康づくり）		土曜（チャンバラフィットネス）	
西浅井公民館	高齢者講座（軽スポーツ）		土曜（フットサル、キッズサスケ）	
養蚕の館	歴史探訪ウォーキング		土曜（リズムダンス）	
長浜サンパレス	コアゆらピクス	棒体操	エアロビクス	フィットネスフラダンス
	ウォーキング	太極拳（入門・初級）	ヨガ（1～5）	親子リトミック（2）
	キッズダンス（初心者・継続）	パワーヨガ	ピラティス（3）	チェアエクササイズ
集え！ 楽やせ教室		※平成25年度は、浅井支所・高月分室・六荘公民館等で下半期を中心に月1回程度開催		
転倒予防教室		※地区社会福祉協議会を中心に、各自治会・公民館等の協力を得て開催		

長浜市スポーツ推進計画策定会議委員名簿

(敬称略)

※委員は五十音順

氏 名	団 体 等	性別	備 考
アリ キ シゲ オ 有木 重夫	長浜市体育協会 会長	男	
イケ ツキ シゲル 生月 茂	長浜市スポーツ推進委員会 副会長	男	
キタムラ ヨシ コ 北村 由子	長浜市健康推進委員協議会 本部役員	女	
キ ムラ 木村さやか	市 民 公 募	女	
シバ タ ヨシ ナリ 柴田 善成	長浜市体育協会 理事長	男	
タガ ワ シゲ オ 田川 重雄	長浜市総合型地域スポーツ・クラブ連絡協議会 会長	男	
タチバナ キョウ ショウ 橘 慶昌	公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団 事務局参事	男	
ツツミ マサ ノリ 堤 正則	長浜市中学校体育連盟 評議委員	男	
トウ ダ タカ コ 徳田 隆子	市 民 公 募	女	
ト ヨダ ノリ シゲ 豊田 則成	学識経験者・びわこ成蹊スポーツ大学教授	男	座長
ハツ タ タダ シ 八田 忠士	長浜市スポーツ少年団 本部長	男	
ミズ タニ ナオ ミ 水谷 直美	長浜市小学校体育連盟関係	女	
ミ ノ ベ マ ユミ 美濃部真弓	しょうがい者スポーツ関係	女	
クレ タケ マサ ヒコ 呉竹 政彦	滋賀県教育委員会事務局 スポーツ健康課スポーツ振興主事	男	アドバイザー

委員13名

アドバイザー1名